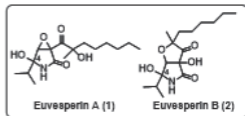


21PO-am006S

Euvesperin A 及び B の全合成研究

○本間 祐介¹, 田中 耕作三世¹, 古源 寛¹, 小林 健一¹, 高取 和彦¹ (¹明治薬大)

【目的】Euvesperin A (1) 及び B (2) は、アルベカシン耐性 MRSA 感染症治療薬のシード化合物として期待される天然物である。1 及び 2 はいずれも 4 位のヘミアミナル部位に関するジアステレオマー混合物として報告されているが、相対及び絶対立体配置は解明されていない。そこでこれらの構造決定を目指し、全合成研究に着手した。



【方法・結果】我々が以前開発したジアステレオ選択的な Darzens 反応を鍵反応として、光学活性な環部セグメント 5 を立体選択的に合成した。次いで側鎖部セグメントとカップリングさせて 6 とし、続く 4 段階の変換で (7*S*)-1 及び (7*R*)-1 をそれぞれ 4 位のジアステレオマー混合物として得た。また、(7*S*)-1 及び (7*R*)-1 をそれぞれ MeOH 溶媒中 NaOMe で処理し、(7*S*)-2 及び (7*R*)-2 をそれぞれ単一のジアステレオマーとして得た。

現在、合成した化合物と天然物のスペクトルデータの比較による構造決定を検討している。

